

箱根はやっぱり乗り物ヲクして登ろう最高峰…でも
箱根駒ヶ岳～神山(箱根山)

実施日 2013年3月17日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 涌井 良明
 参加者 佐藤金治、一柳昭、涌井良明、安田三恵子、石附智江、伊藤久雄、石原勝正、天野拓郎、石附智子、G(石附恵理子) 計10名
 費用 伊豆箱根バス2,330円(小田原起算)
 タイム 小田原駅(8:50)箱根園(10:10~10:30)ロープウェイ山頂駅(10:40~10:45)駒ヶ岳山頂(10:50)防ヶ沢分岐(11:15~11:20)神山(12:03~12:40)昼食冠ヶ岳分岐(12:50)冠ヶ岳(13:00~13:05)分岐(13:10)大涌谷分岐(13:30~13:40)お中道分岐(13:45)早雲山駅(14:38~14:50)小田原駅(16:20)

小田原駅から長いバスの旅で箱根園へ駒ヶ岳ロープウェイにはツアー客も混じってほぼ満員だった。山頂駅は2度とこのことで風が冷たい、富士は霞と薄雲で殆ど見えない。遊歩道で直ぐ上に見える駒ヶ岳神社(山頂)に参拝してから山歩きが始まる。神社裏手に笹原についた踏跡を下って本来の登山道に合流して右手に下って行くが、霜が融けてぬかるんだ状態の道が続く。予想していたのとそれほどひどくはないがそこは慎重にゆっくりと下る。防ヶ沢分岐でレイヤー調整で一息入り



て神山に登りになっていく。急登というほどではないが大所々段差もきい、日本有数の大観光地の中

の登山道としてはいまいちの未整備感である。箱根町は山しか歩かないハイカーなどは相手にしていない？
 先程の駒ヶ岳が右手に見えるようになると神山も近い。神山山頂は展望はなく

わりと狭いが風が遮られるのは幸いだ。時間も昼時なので昼食なった。

神山から大涌谷方面へ下って分岐から冠ヶ岳山頂に着いた。写真撮り先に進む、心配していた雪も最近の暖かさで殆ど融けてしまったようだ。



感じての狭い冠ヶ岳山頂に着いた。写真撮り先に進む、心配していた雪も最近の暖かさで殆ど融けてしまったようだ。

みして早雲山駅へ向かう、この付近はイワカガミの群落があり今は紫の葉があるだけだが花の時期は箱根の花の名所として一見の価値があるかも知れない。トラバース気味に進み駒ヶ岳お中道分岐になり、ここの尾根に沿って下りながら尾根道もやや未整備感があつた。遠くにバイクの騒音を耳にしたが下り早雲山駅の駐車場に降り立つ。とたん今までの地味な山道とは別世界の感があるこれぞ観光地だあ！という環境に戻された。



運よく休日遅れていたバスに乗れ、小田原駅で解散して完了。大観光地のハイコースとしては地味な印象だったが、やはり昔からの観光地のイメージから脱皮できずに地元はお手軽に商売になりそうなのを改めて感じた次第。でも山はどこへ行ってもそれなりに楽しくも苦しくもあり今回も同様でした。参加された皆さんありがとう、お疲れ様でした。



(記&写真・涌井 良明)